

イクスチェンジ委員会 委員長 安養寺 務

昨年に引き続きまして委員長を務めさせていただきます。今年度の当委員会のキーワードは「コミュニケーション力」。委員会での意見交換、情報交換を通じて交流を深め、その能力を高めていきたいと思います。委員会名の「イクスチェンジ」は「交換・交流」という意味です。決して両替ではありませんので…。

また、当委員会の副委員長も統投の副委員長です。私も副委員長も今年は変に気負う事なく、リラックスして新年度を迎えることができました。それが気の緩みにならないよう、気を付けて活動していきたいと思います。

今年のテーマ「人間力」。時間軸の長い課題です。でも今考えなければならない課題です。成果は数年後に刈り取るつもりで、皆さんと一緒にこの一年頑張っていきたいと思っております。

サクセスシード委員会 委員長 森原 義博

本年度、委員長を務めさせていただきます。森原です！よろしくお願いいたします！「人間力」というテーマのもと、当委員会では、「気力」をキーワードとし、1年間活動していきます。不況の時代だからこそ、今の中小企業には、「気力」が必要かと思えます。

委員会名は「サクセスシード」です。皆さん、いい名前でしょう？我ながら非常に気に入っています。サクセスとは「成功」シードとは「種」です。成功の反対は、失敗ですね！私は、その失敗から学びたいと考えました。ビジネスだけにとらわれず、公的私的にも様々な分野ですすめていくつもりであります。通常であれば、成功例を参考にするという考えが良いとされていますが、私はあえて失敗例（失敗から学ぶ）ということで、何事に対しても勇気をもってすんでいける精神力と気力（活力）を養っていきたくと思えます。最後に、サブテーマは「家族愛」です。人に対する思いやりを忘れず1年間、誠心誠意努めさせていただきます。

ドリカム委員会 委員長 中村 育史

平成3年度に入会し早17年、「まだ卒業していないのか！」「現役O. B.」と言われつつ平成20年度を迎える事となり、その長きに渡る疲労蓄積が頭頂部へと達してしまいました。そんな今年度、委員長という大役が舞い込んで来たのですがそれは同時に現役生活の最終章をも意味する事となりました。

今年度のテーマは「人間力」。そのよき響きとは裏腹にとても深く、難しく、到達点のあるものではありません。そんな大きなテーマの下、我がドリカム委員会はお気楽に、楽しく、愉快地、びっくり箱のような世界を繰り広げていけたらと思います。「人間力」とは「心の広さ」ではないでしょうか。心に余裕を与える事、それが包容性に繋がるとその人の魅力に磨きをかけます。皆様に安らぎの一年間を過ごしてもらい、その役目を終えたいと思っております。

パワーシップ委員会 委員長 林 正太郎

昨年度に引き続きまして、委員長を務めさせていただくことになりました林です。本年度は、平井会長より「人間力」というキーワードをいただき、自分自身、何がやりたいのか、どういう人間になりたいのかを考え抜いた結果、リーダーシップを発揮出来る人間になりたいという思いに到達しました。

会社経営者、また管理者にとって、統率をとるということは、必要不可欠な事であり、必ず養わなければいけない部分だと日々の仕事を通じ、嫌と言うほど痛感させられております。青年中央会会員も同じことを思っているのではないのでしょうか？

この委員会では、メンバーに様々な場面で、リーダーシップを遺憾なく発揮してもらえるような仕掛けを考えております。まずは中央会で練習し、次は職場で実践してみようでしょうか？

2年目は言うものの、メンバーに教わることは多々あると思います。また、サポートも頂かなければ委員会が成り立っていかないのも実情です。青年中央会会員の皆様、並びに、パワーシップ委員会の皆様、本年度も精一杯頑張りますので、一年間どうぞ宜しくお願い致します。

ねっとわーく委員会 委員長 藤原 正実

平井会長が掲げる「人間力」というテーマ下、相互理解・コミュニケーションを一層深める事によりメンター作りや、新たなビジネスチャンスを生み出し自立と共生を実現する「あなるくねっとわーく」の構築を目指します。

ふと周りを見渡すと携帯電話やインターネットを初めとする、いわゆる“デジタル”に溢れた現代社会において、今を生きる我々企業もデジタル化しているのかも知れません。

しかし当委員会はデジタルではない“人脈(ネットワーク)”を最も重要な経営資源の1つと捉え、人と人の“あなるく”な付合いを通して「人間力」を養い“次代”を切り開く術を学んでいこうと考えております。何分若輩で心もとなない委員長ではありますが委員会の皆様のお力を借りつつ充実した委員会活動をしていきたいと考えておりますので、1年間ご協力宜しくお願い致します。



Information

	役員会 ホテルモナーク 原則第1木曜日 19:00~	例会 ホテルニューオータニ 原則第3木曜日 18:00~	三役会 対翠閣 原則第4木曜日 19:00~
平成20年	7月3日(木) 新旧役員会	17日(木) 通常総会	24日(木)
	8月1日(金)	9日(土) 親子ふれあい (海でBBQ)	28日(木)
	9月4日(木)	18日(木)	25日(木)
	10月2日(木)	16日(木)	30日(木)
	11月6日(木)	18日(火) 全国大会と重なる ※平成20年11月20日(木)宮城野球場	27日(木)
	12月4日(木)	18日(木) 場所変更あり	25日(木) 忘年会
平成21年	1月8日(木) 新年会	22日(木) 新年例会	29日(木)
	2月5日(木)	19日(木) 臨時総会	26日(木)
	3月5日(木)	19日(木)	26日(木)
	4月2日(木)	19日(日) フラワーフェス ティバルイン湖山池	23日(木)
	5月7日(木)	21日(木) 委員会活動報告	28日(木)
	6月4日(木)	18日(木) 臨時総会・卒業例会	25日(木) 新旧三役会

平成20年度 役員会・例会・三役会 / 日程(案)

●新入会員紹介

- 中島 辰哉 / 鳥取市役所
- 坂本 憲一 / 株式会社パレット
- 山田 学 / 有限会社ハンパス
- 前田 真教 / 株式会社エステートセンター
- 西平 晶亮 / 株式会社トラベルハウス
- 玉木 真人 / とっとりキャピタル株式会社
- 長田 洋一 / 鳥取県庁

●新社屋落成

水野会員 (イクスチェンジ委員会)

編集後記

あっという間の谷口年度が過ぎ去っていましたが、個性的な委員会ばかりで、とても楽しい一年間でした。今年度は平井会長のもと「原点回帰」して、「英知・友愛・団結」にあふれた青年中央会になることを願います。最後に、一年間、原稿依頼等に快く応じてくださった会員の皆様にごこの場をお借りして厚くお礼を申し上げます。ありがとうございました。

クロスメディア委員会 / 山本 浩

鳥取県東部中小企業青年中央会 会報

2008年7月発行
No.148

時代に挑み次代を創る
T.S.C

鳥取県東部中小企業青年中央会

OZORA

おおぞら

■平成20年度テーマ■ 人間力

サブテーマ 「原点回帰」

発行人 谷口 昌弘 (平成19年度・会長)

編集責任者 山本 浩 (クロスメディア委員会委員長)

編集委員会 クロスメディア委員会

URL: www.tsc21.gr.jp E-mail: tsc@tsc21.gr.jp

【網領】

- 一 われわれは自己の研鑽につとめ、英知を養う。
- 一 われわれは社会に奉仕し、お互いの友愛を深める。
- 一 われわれは団結して中小企業の発展を図る。

直前会長あいさつ 平成19年度会長 谷口 昌弘



19年度は皆様に支えられ職責を全うすることができました。ありがとうございました。

今年の年明けはサブプライム問題、原油高騰、円高等で景気後退からスタートいたしました。

現在に至ってもその問題は、日本の景気に大きな影響を与えています。先が見えない不安でいっぱいです。

地方切捨ての時代に、地方がどのように生き残るか、真剣に考えなくてはなりません。

我々東部青年中央会も当会のカラーをもっと鮮明にしなければなりません。

その為には会員一人ひとりが会を理解し、今まで築き上

げたベースの上に、新しいものを積み上げていくことが必要です。先行きが不透明な時代だからこそできることがあると思います。

目的が同じ会の人間として心をついに乗り越えていくことではないでしょうか？

OBも現役も同じ会に携わった仲間として、もっと交流をする必要があるのではないのでしょうか、

時代をつなぐことが今求められていると思います。

20年度は平井会長が「人間力」をテーマに「原点回帰」を基本方針として会の運営をいたします。

まさに時代にマッチしたテーマではないでしょうか、会員が一つになって会のカラーを出せると期待しています。

直前会長として中央会最後の年を精一杯頑張りたいと思っております。

会長あいさつ 平成20年度会長 平井 義一



第34代鳥取県東部中小企業青年中央会 会長 平井 義一です。次年度35周年を迎える前段の重要な

年度として又、34年の歴史の重さに対して身の引き締まる思いでございます。この1年、青年中央会会員の為にどうするべきか、どうあるべきかを最優先にし自分らしく完全燃焼出来る年度としたいと考えております。ご協力宜しくお願いいたします。

今年度テーマ 「人間力」 基本方針 「原点回帰」

情報時代と呼ばれている昨今、欲しい情報がタイムリーに意のままに手に入れる事が出来ます。しかし一歩間違えると情報に翻弄され真の自分らしさを情熱を見失う事になりかねません。「人間力」＝「人の心に働きかけて人を動かす力」とするならば、伝える人が自分の心に正直で自分の言葉で相手と向き合う事が出来れば人と人との距離がもっ

と近くなるはずで。その為には「原点回帰」自分らしさの原点（物事が始まった地点、例えば社会人になって初めて出勤した時の思い、起業した初日の出来事、初めて中央会に入会した感覚）を今一度振り返っていただいて、他人の経験ではなく自分自身の経験、体感に於いて会員同士が本音を語り合えるぶつかり合える青年中央会であって欲しいと考えます。

委員会活動としては「人間力」のキーワードを（知力）（実践力）（気力）（人脈活用力）（コミュニケーション力）とし、さまざまな切り口で活動して行きます。

イベント関連としては親子ふれあい、フラワーフェスティバルイン湖山池、を継続事業とし、会の内向け、外向けのメリハリをつけ活動を行う。

特別委員会は、サポート委員会、35周年実行委員会として会員増強、会員のサポート、TSC 4つの挑戦の啓蒙、35周年にむけての企画実行の活動を行う。

20年度が終わり会員と会員がもっともっと近い存在となれる様、私自身がもっともっと人間くさく、泥臭い会長になってわずか1年ですが全会員に伝えて行きたいと思っております。青年中央会＝青臭い年の（人の）中央会って事をお忘れなく！！信義を貫け！！ 以上



井上法雄さん



岡本安量さん



恩田利彦さん



勝原章さん



福井康史さん



棕田智さん

6月
卒業例会

ご卒業
おめでとうございます

6月卒業例会を終えて

身近ing委員会 委員長 川口孝治

平成20年6月19日、ホテルニューオータニ鳥取「鶴の間」にて、卒業生6名、OB19名、会員66名の総勢91名のご参加により、平成19年度卒業例会が盛大に開催されました。

また、谷口会長の「感性を磨け！」という基本方針の下、全員で一年間実践してきた集大成を披露する大切な例会でもありました。

6名の卒業生の皆様が中央会活動に全力投球してきてこられたのも、内助の功あってのことだったと思います。そこで、それぞれの卒業生の奥様より、若かりし頃の思い出のツーショット写真とメッセージを頂戴し披露させて頂きました。卒業生の皆様にも喜んで頂けたことと思います。

準備段階では身近ing委員会のメンバー全員で取材をして頂き、大変ありがとうございました。

また、卒業生やOBの皆様「おもてなしの心」で接して下さった会員の皆様、本当にありがとうございました。

追伸 6名の卒業生の皆様、おめでとうございました。そして、谷口会長、一年間お疲れ様でした。

新副会長の抱負

テーマ
『人間力』
サブテーマ
『原点回帰』

副会長 井上 誠
パワーシップ委員会

昨年度に続き、今年度も副会長を勤めさせていただきます、井上です。
昨年は右も左も解らない中、あっという間に1年間が過ぎていきました。
昨年学んだ経験を今年の平井会長のもとフルに発揮していきたいと思えます。
担当であるパワーシップ委員会は今年度テーマ『人間力』の実践力をキーワードに指導力・指揮力を学び、リーダーシップ力を身につけ人間力を養おう！をテーマに活動する委員会です。
委員会メンバーと共に自ら学び成長していくと共に、委員長・副委員長、そして会長をバックアップし充実した活動が出来るようにサポートしていきたいと思えます。また、今年度基本方針である『原点回帰』。会に入会した時、また仕事・家族等その時々初心にかえって、考えなおしてみる年とし、さらなるステップアップをしていきます。

副会長 鳥越 宣孝
ねっとわーく委員会

今年度副会長をさせていただくこととなりました。
担当はねっとわーく委員会です。
入会してから年度が変わる事に青年中央会も進化、変化しているなと感じていますが、今年度の人間力というテーマは人と人のつながりをとても大事にしていく事だと思ってます。
また原点回帰というサブテーマのもと、自分なりに伝えていく事や新たな事に挑戦しながら活動していこうと思えます。
初めての役職で多少とまどう所もあるかもしれませんが、持ち前のバイタリティーで平井会長を青年中央会を委員会を支えて、盛り上げていきますので宜しくお願いします。

副会長 金本 勝彦
エクスチェンジ委員会

いよいよ卒業年度となりました。
まさか、最終年度に「副会長」とは・・・。
自分自身予想もしていませんでしたがこれも「何かの縁・巡り合わせ」なのかな？と思い、平井義一年度が充実した一年間になるよう精一杯ガンバリマス！
会の中で最年長となった今、これまでかかわってきたことや経験の集大成として「次の世代に繋ぐ」、「残す」ということの大切さを最近よく考えます。
副会長としての役割はもちろん、「何をどう繋ぐか？どんなカタチで残すか？」をイメージしながら過ごしていきたいと思えます。
今年度のテーマの「人間力」いいコトバだと思います。
みんなで「人間力」を磨きステップアップしましょう。どうぞよろしくお願いいたします。

副会長 清水 隆文
サクセスシード委員会

今年、2年目の副会長をさせて頂くことになりました。
昨年は中央会の1つ1つの行事・物事の意味合いを知るの出来る充実した1年であり、あっという間に過ぎてしまいました。今年度は「人間力」を根本とし、5つの委員会全てが5つの切り口で活動していきます。私が担当させて頂く委員会の切り口は「気力」、正直、私にとってかなり苦手な分野です。
苦手ではありますが、出来る限りの力を出し切り、充実した1年にしていけたらと思えます。この1年は青年中央会にとっても意味のある1年になると思えます。
親子ふれあい、周年行事に関しましては新しい1歩を踏み出す1年になります。青年中央会のことを会員みなさんにさらに分かって頂き、良い方向性に導けたらと思えます。また、昨年の抱負でも書かせて頂きましたが、会長の思いを会員みなさんに伝え、会員みなさんのご意見を会長に伝える架け橋になっていけたらと思えます。1年間、頑張っていきたいと思えますのでよろしくお願いいたします。

副会長 八木 智一
ドリカム委員会

平成13年度に入会して早7年・・・。
今年度、副会長をさせていただけることになりました八木です。
初めての副会長ということで、不安がいっぱいですがみなさんに勉強をさせていただきながら、自分なりに精一杯頑張って成長しながら楽しもうと思えます。
担当委員会は、今年度のテーマ『人間力』の中の知力担当、ドリカム委員会です。
委員会のみみなさんには委員会を通じてお勉強会では得られない沢山の情報・仲間を増やして、今後の仕事・私事に大いに活用してほしいと思っています。
そのためにはまず、委員会には来ていただけるよう、自分がいままで中央会で教わった『中央会が好き・人が好き』を前面に押し出して『中央会を楽しむ』をみなさんに伝えたいと思えます。